

第三次湖南省総合計画 第1回ワークショップ 次第

日時：令和6年12月15日（日） 14：00～16：00

場所：湖南省共同福祉施設（サンライフ甲西）2階大ホール

1. 開会

2. 市長挨拶

3. 第三次湖南省総合計画審議会会長挨拶

4. 事務局説明

（1）総合計画とは （資料1）

（2）市民意向調査結果について （資料2）

（3）ワークショップの流れについて （資料3）

5. ワークショップ

（1）アイスブレイク

①自己紹介（名前、お住まい、テーマを選んだ理由、趣味等）

②アイスブレイクゲーム

（2）グループワーク

①湖南省の良いところ、改善したいところ、

まちづくりの方針として重要なこと、どのようなまちにしたいか

②これからのワークショップで取り上げる政策テーマの決定

（3）グループ発表

（4）講評

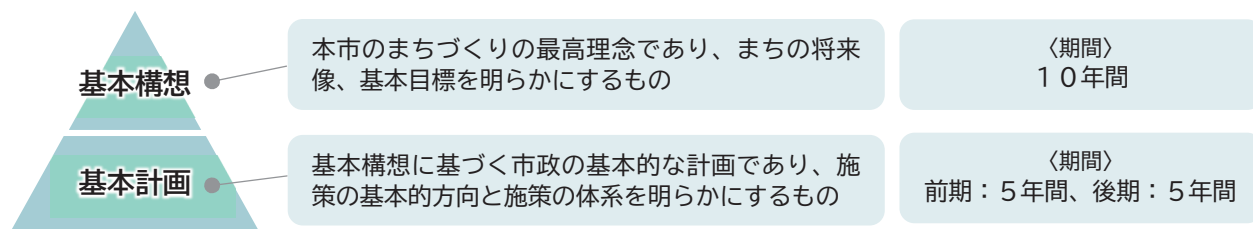
6. 閉会

湖南省総合計画とは

湖南省総合計画は、市が作成するすべての計画の基本となる計画で、すべてのまちづくり事業は総合計画に沿って実施されます。将来、湖南省をどのような「まち」にしていくのか、それに向けて市民・事業者・行政が行動するための目標や方針、施策などを示すものです。

湖南省総合計画は、10年ごとに更新しており、現行の第二次湖南省総合計画が令和7年（2025年）度に最終年度を迎えることから、現在新たな計画（第三次湖南省総合計画）の策定に取り組んでいます。

湖南省総合計画の構成



第二次湖南省総合計画の主な内容

【まちの将来像】
ずっとここに暮らしたい！ みんなで創ろう きらめき湖南

【主な「まちづくりの目標」と「政策テーマ」】

まちづくりの目標	政策テーマ
①みんなで共に進めるしくみをつくろう ～人権尊重と自立・自助、共助のまちづくり～	・市民主体のまちづくり ・すべての人の人権尊重 ・男女共同参画 ・特色のあるふるさとづくり ・多文化共生 ・情報ネットワークの構築 等
②うるおいのあるまちをつくろう ～自然を生かし、自然と共生するまちづくり～	・環境の保全 ・循環型社会の形成 ・エネルギー・経済の循環による活性化 ・身近な公園・緑地の整備 等
③活気あるまちをつくろう ～産業が集まり、人が集うまちづくり～	・市街地・住環境の整備 ・公共交通、農林業、工業、商業、観光、雇用の促進と勤労者福祉の振興 等
④ほっとする暮らしをつくろう ～生涯を通じた安心と健康のまちづくり～	・健康づくり ・医療、子育て支援 ・障がい者・高齢者の自立支援 ・地域福祉、安全な地域づくり 等
⑤いきいきとした暮らしをつくろう ～誇りとなる市民文化を創造するまちづくり～	・就学前・学校教育 ・若者の社会参画、社会教育 ・スポーツの振興 ・歴史文化の継承と活用 ・文化芸術活動の振興 等

第1章

1. 市民主体のまちづくりの推進

施策 1

市民協働制度の充実



- 市民と行政の協働の推進
- 地域まちづくり協議会の活動促進

現 状

行政情報の提供、政策立案過程における市民の参加等を積極的に進めています。また、地域まちづくり協議会により市民の自発的な活動が進められています。

課 題

市民が地域の発展や課題解決のために、自らできることに主体的に取り組む意識のもと、地域まちづくり協議会の枠組みとともに市民の意見を行政に反映させるしくみの拡充が必要です。

第二次湖南市総合計画では、政策テーマごとに複数の施策を設定しています。

それぞれの施策の現状と課題を整理し、施策の方針を定めています。

みんなでつくる将来のまちの姿

西部都市ゾーン
西部・やすらぎの街

北部は市最大規模の住宅地、南部は商業施設、集落、西庁舎・生涯学習施設等がある都市ゾーン

- 行政サービス施設の整備
- 石部駅周辺の機能の充実
- 国道1号バイパス沿いの商業を盛り上げ、企業を集める
- 旧街道筋の環境整備
- 道路ネットワークの整備
- 農地・河川の保全

北部森林田園ゾーン
自然あふれる癒しの森

岩根山十二坊の景勝地で温泉ゆららがあり、自然保養レクリエーションの場として期待されるゾーン

- 森林の保全と活用
- 温泉施設や社寺等を結ぶ遊歩道等の整備

東部都市ゾーン
東部・にぎわいの街

住宅地と集落、農地、工業地帯からなる都市ゾーン

- 三雲駅周辺市街地の整備
- 工業団地の環境整備
- 農地、河川環境の保全
- 行政サービス施設の整備
- 交通ネットワークの整備
- 産業集積、商店街の活性化

中部都市ゾーン
中部・集いの街

東庁舎・商工会、商業施設、企業や住宅街がある湖南市の中心核的ゾーン

- 甲西駅周辺市街地の整備、商業振興
- 行政サービス施設の整備
- 河川環境の保全
- 道路ネットワークの整備
- 県道4号線沿道の産業を盛り上げる



農住共生ゾーン

森林や野洲川の景観に恵まれた、豊かな農地と住宅地が共生するゾーン

- 農地の保全
- 豊かな自然環境を身近に感じて暮らせる住環境の維持

南部森林ゾーン
生命輝くうろの森

豊かな森林地域に史跡が点在するゾーン

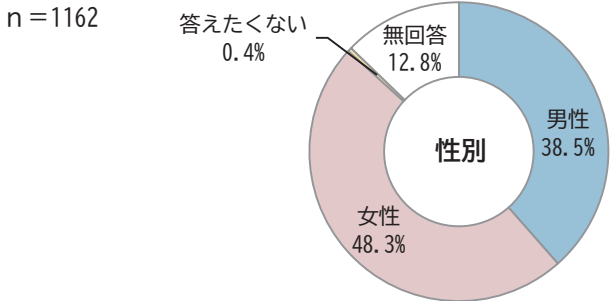
- 森林の保全と活用
- 歴史遺産周辺の整備
- 各歴史遺産を結ぶ遊歩道等の整備
- 森林レクリエーション機能の充実



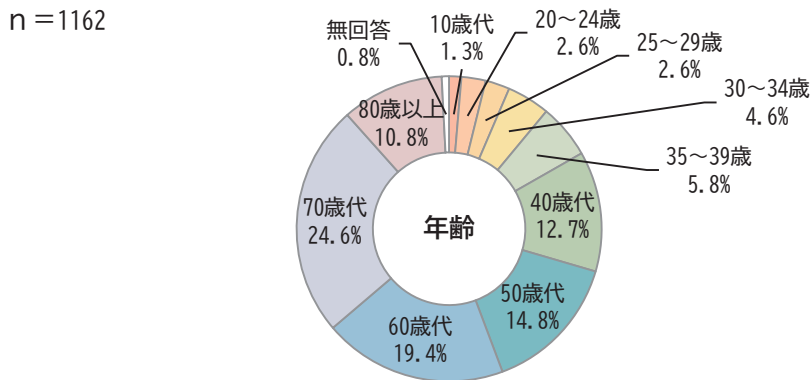
湖南省のまちづくりに関するアンケート〈一般の部〉

実施期間	2024/9/9(月)～9/30(月) ※10/15(火)到着分まで有効
調査方法	発送は郵送、回答は郵送及びWEB 回答
配布数	4,000 件
有効回答数	1,162 人（うちWEB は178 人）
回収率	29.0%

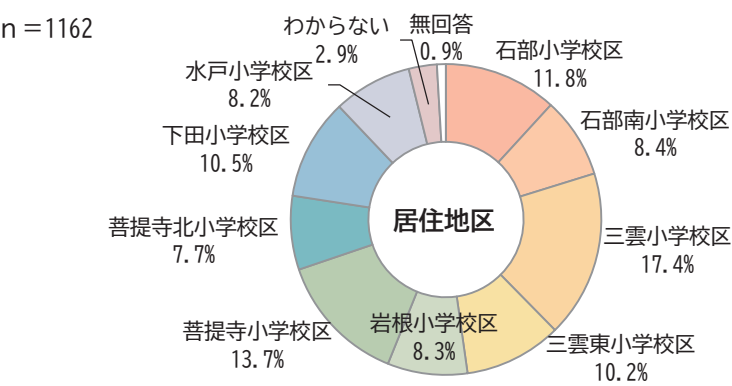
回答者の性別



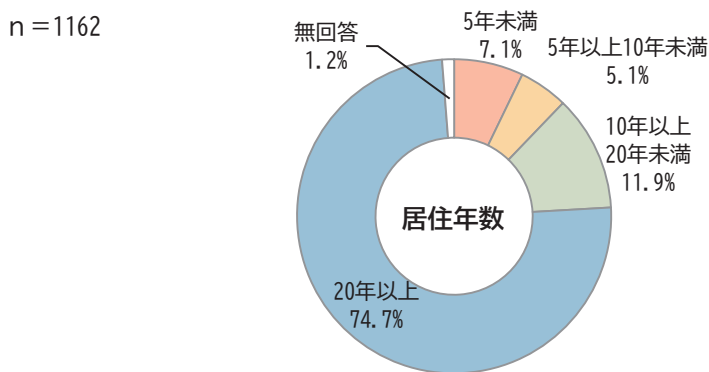
回答者の年齢



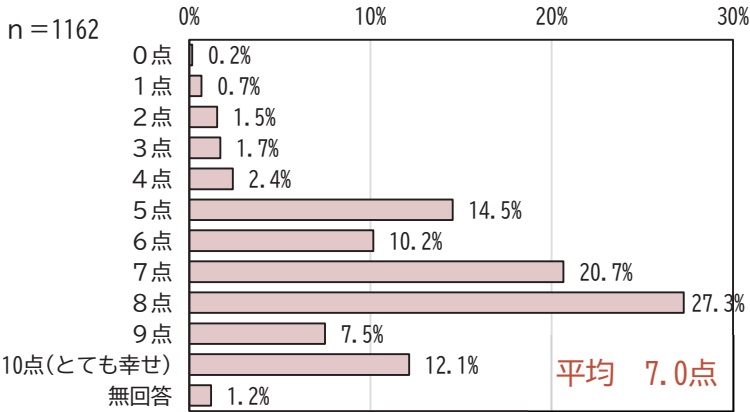
回答者の居住地域



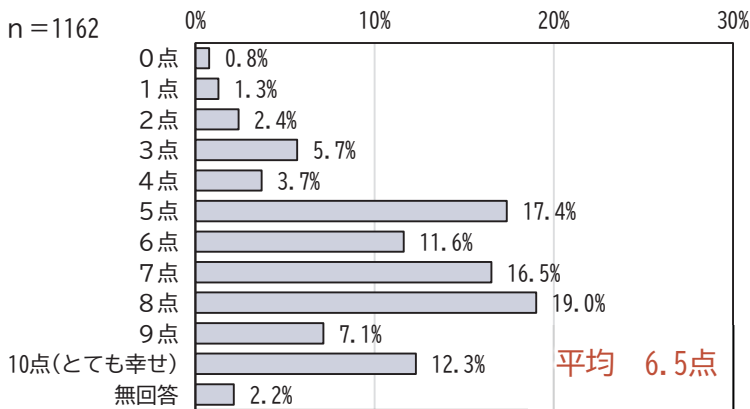
回答者の居住年数



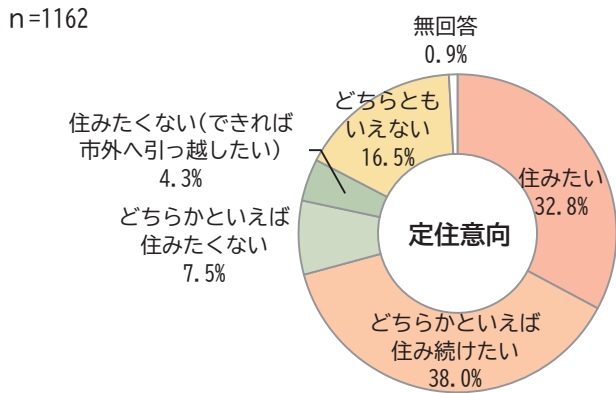
現在の幸福度



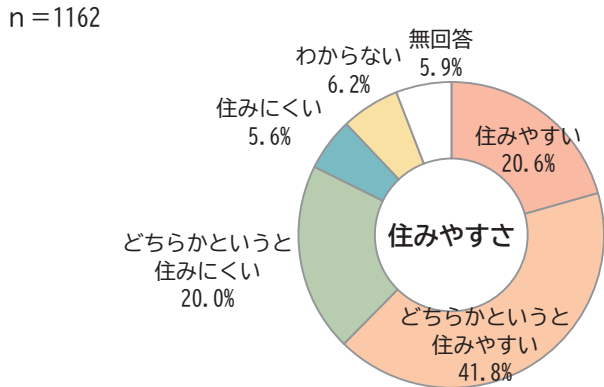
5年後の幸福度



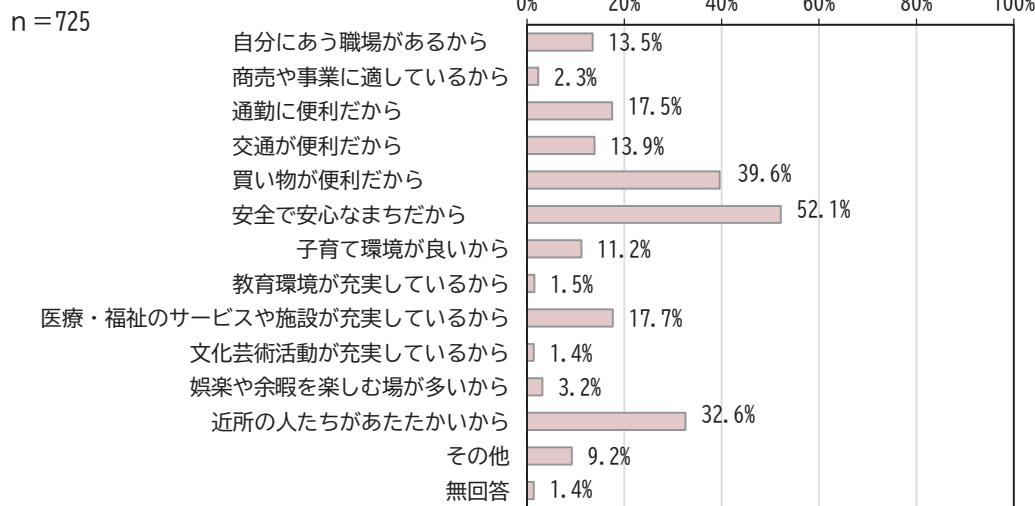
湖南省への定住意向



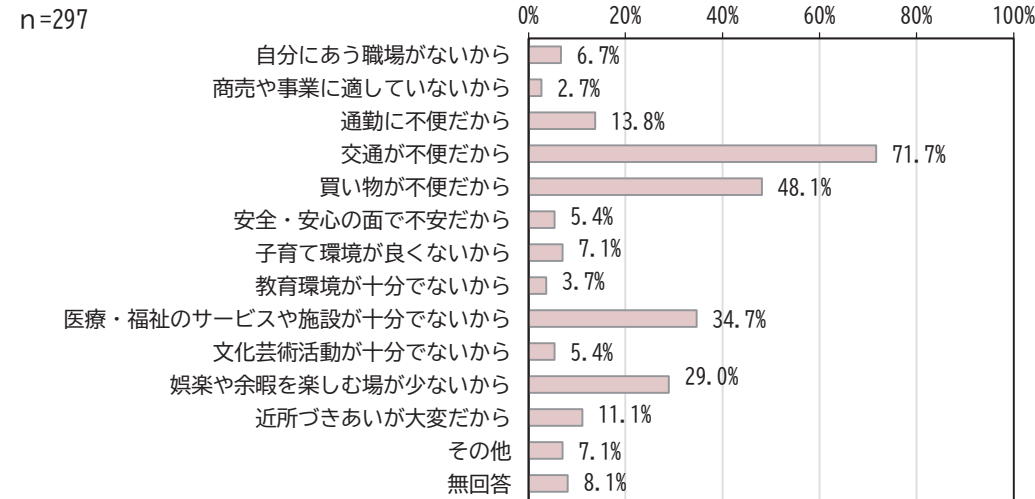
湖南省の住みやすさ



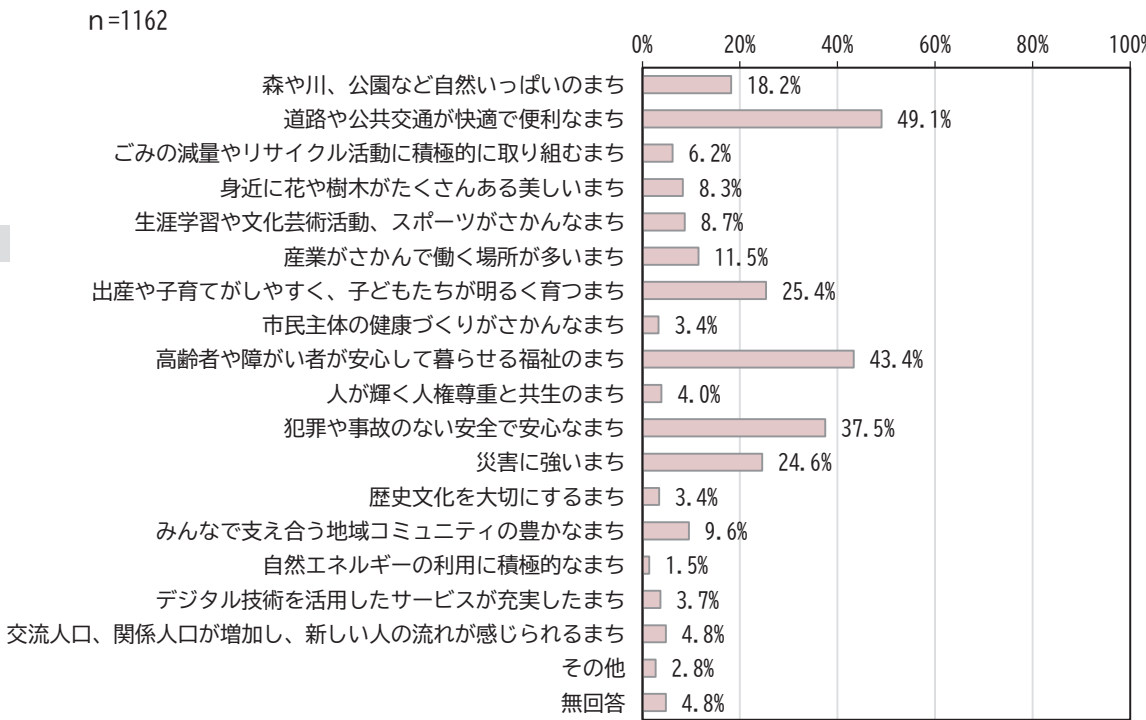
住みやすいと思う理由



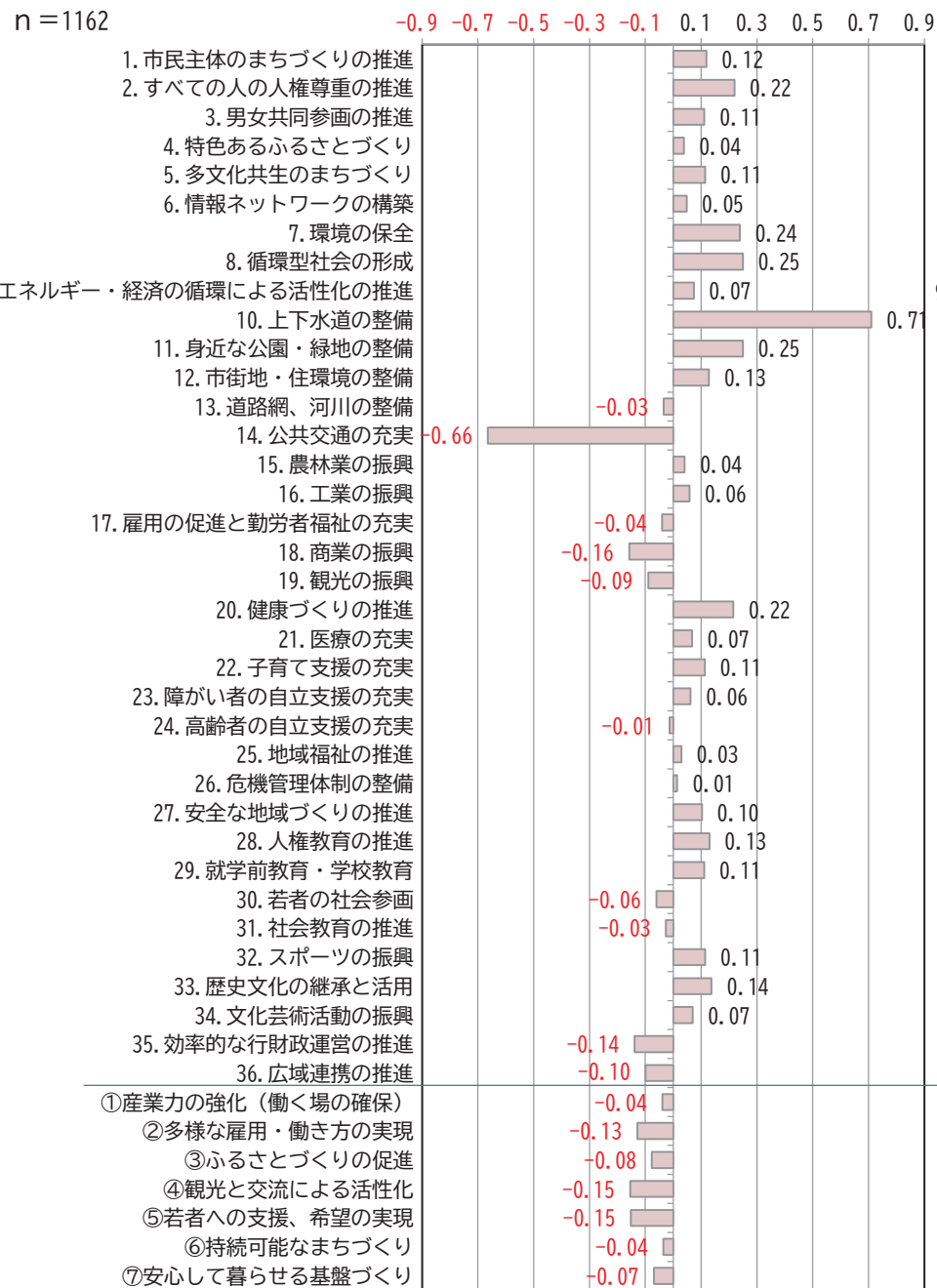
住みにくいと思う理由



みんなが住み続けたいまちのイメージ

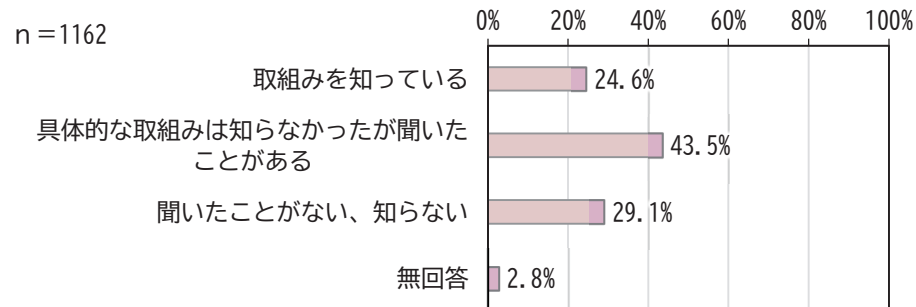


湖南省の取組に対する満足度

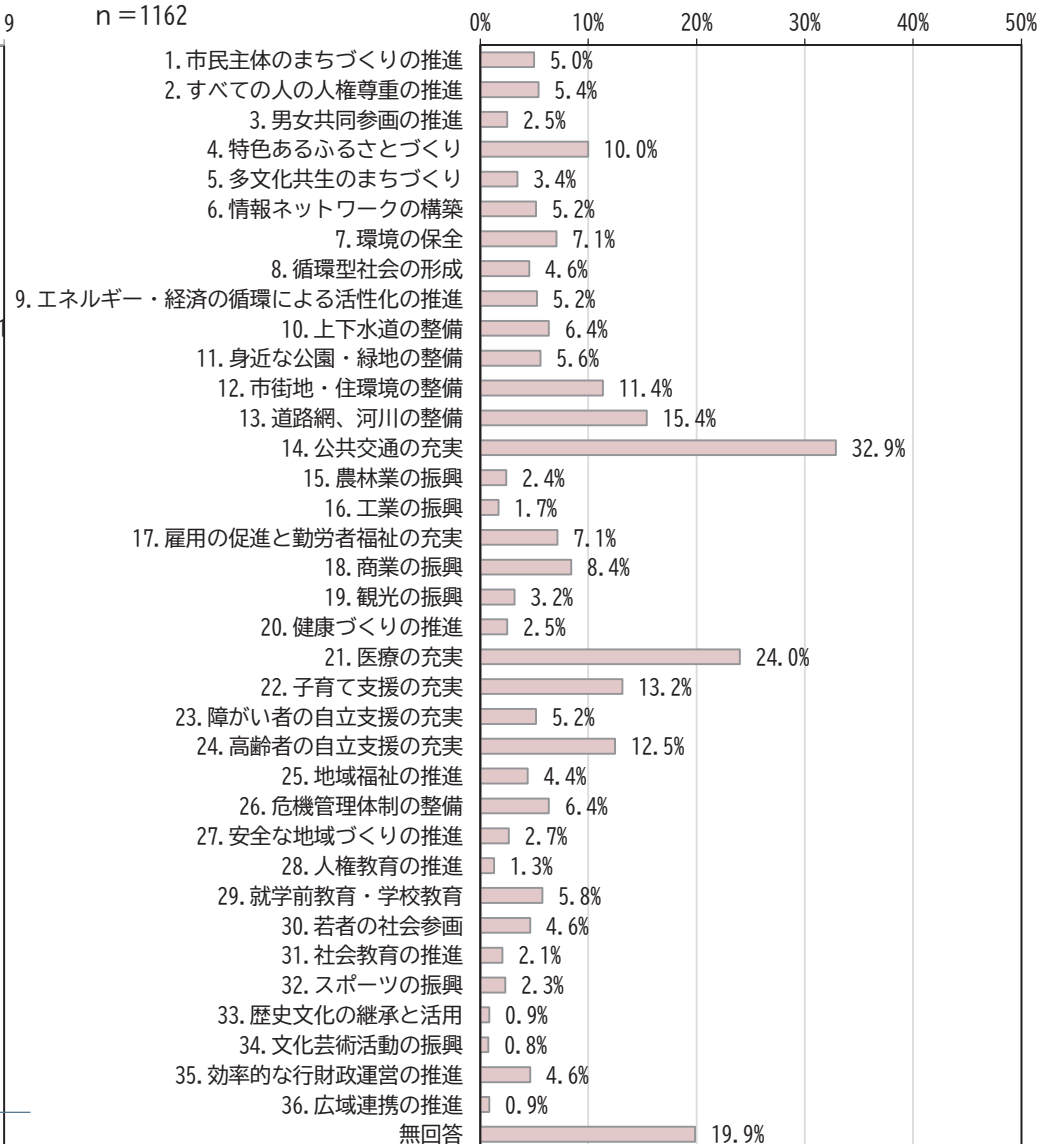


各設問について、「満足」を2点、「まあ満足」を1点、「どちらともいえない」を0点、「やや不満」を-1点、「不満」を-2点として点数化し、比較しました。なお、母数は「満足」、「まあ満足」、「どちらともいえない」、「やや不満」、「不満」の合計値とし、無回答は除いています。

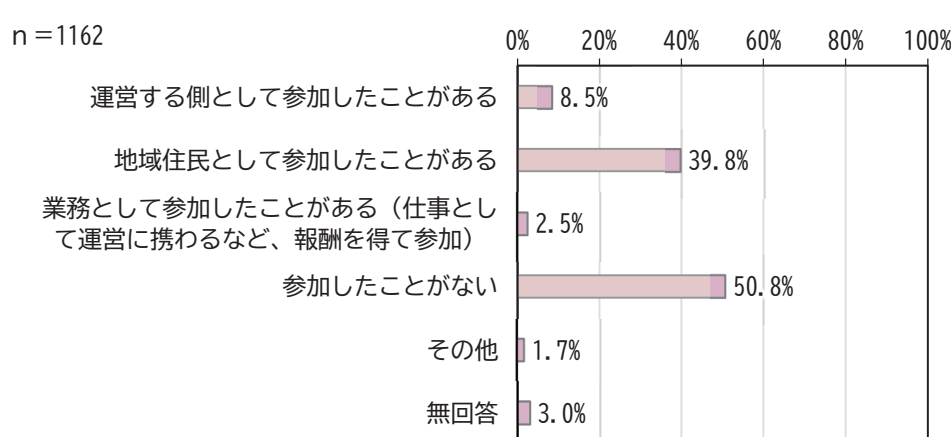
地域まちづくり協議会の取組みの認知



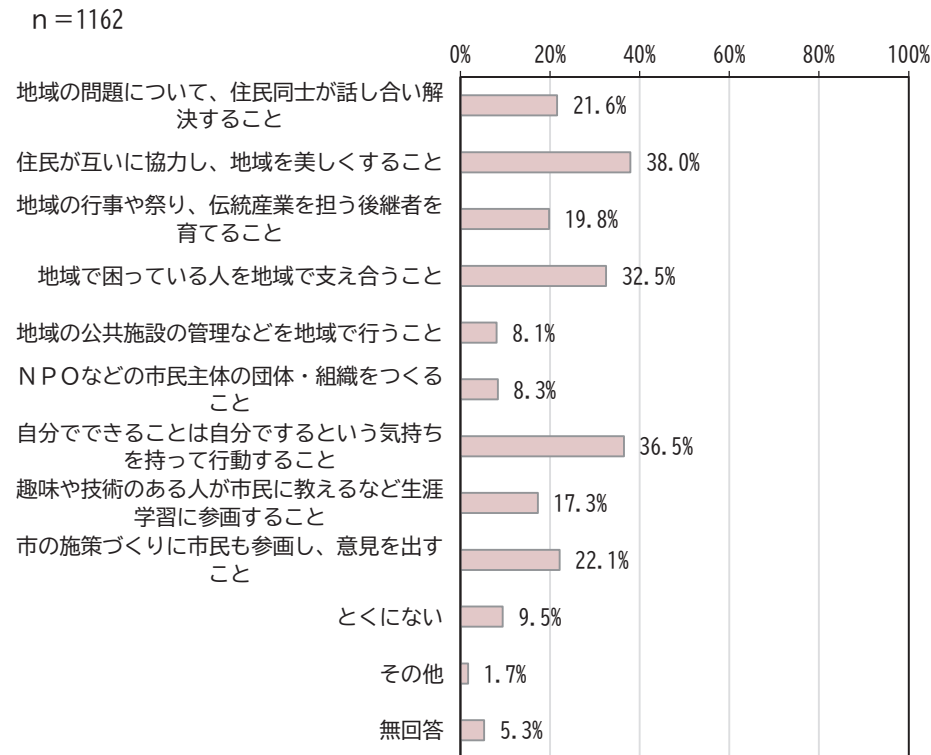
重要だと思うまちづくりの取組みについて



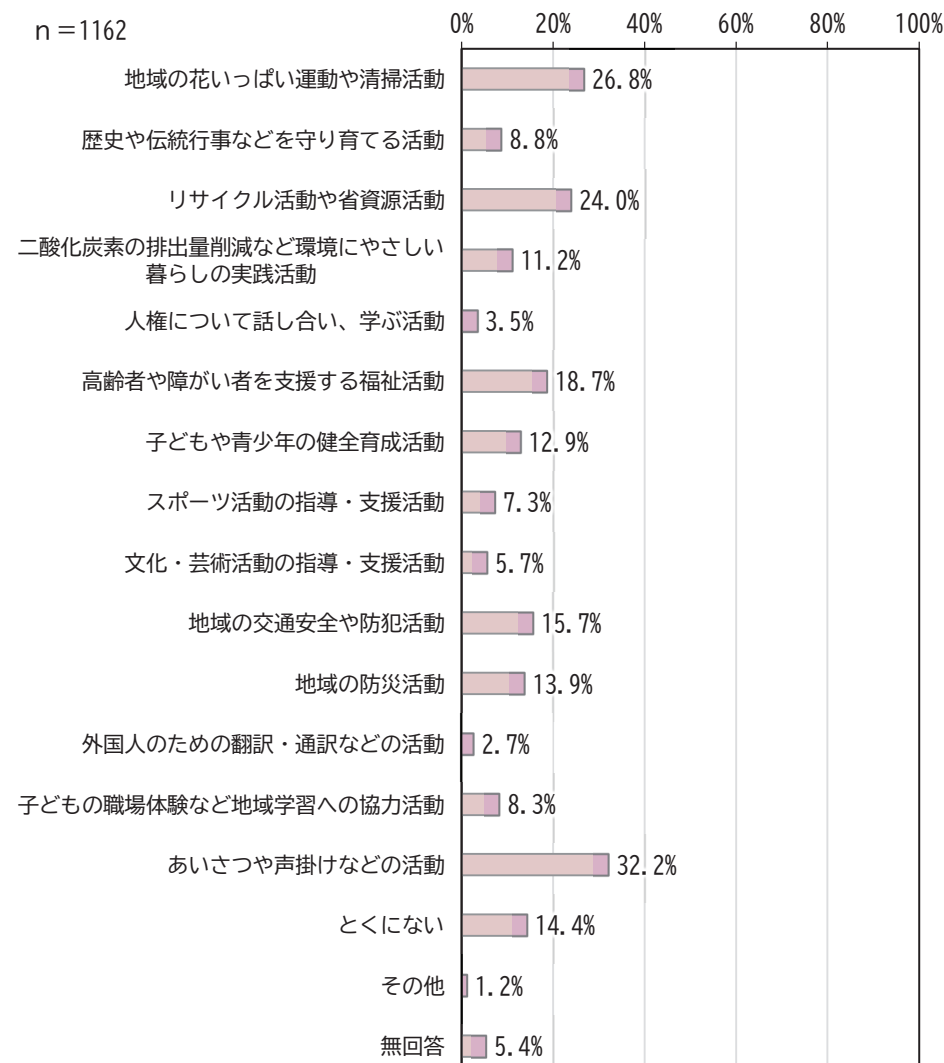
地域まちづくり協議会の行事やイベントの参加有無



湖南省をよくするために市民ができること



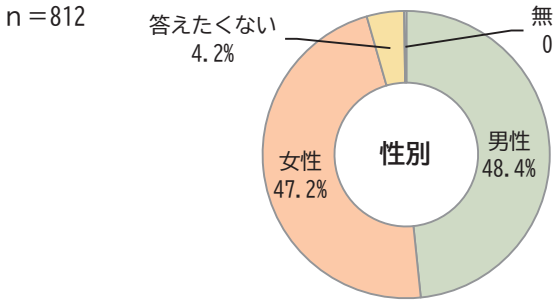
住みよいまちづくりのために参加できる活動



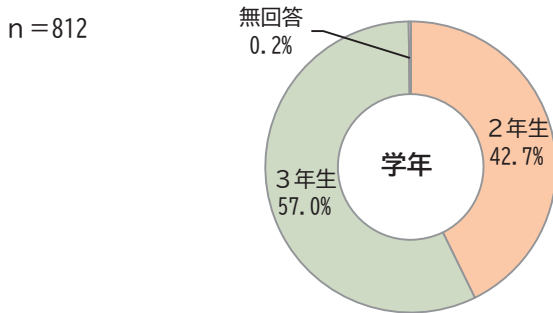
湖南省のまちづくりに関するアンケート〈中学生の部〉

実施期間	2024/10
調査方法	学校配布端末による WEB 回答
有効回答数	812 人

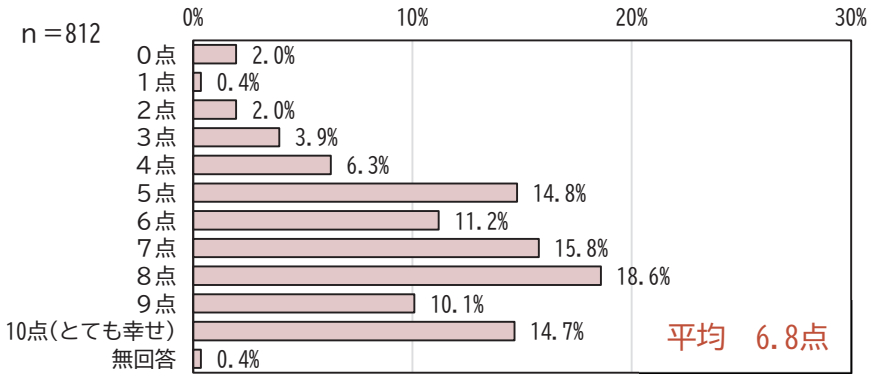
回答者の性別



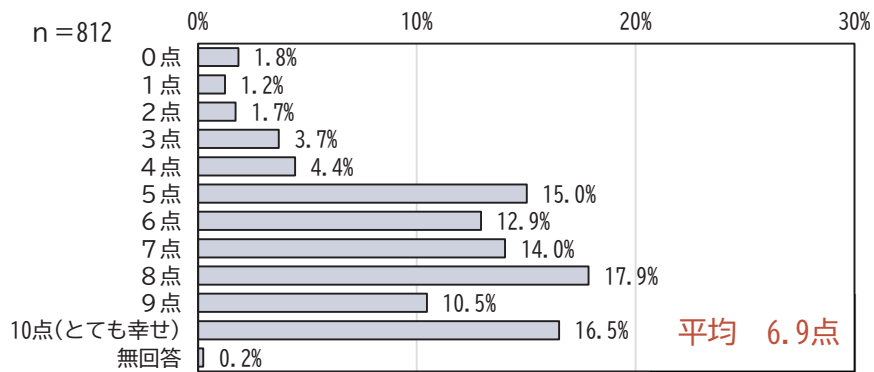
回答者の学年



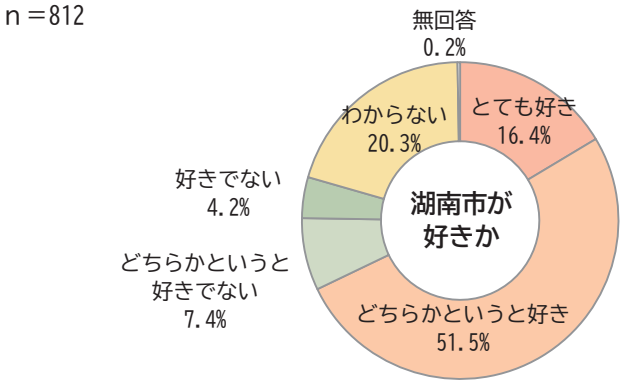
現在の幸福度



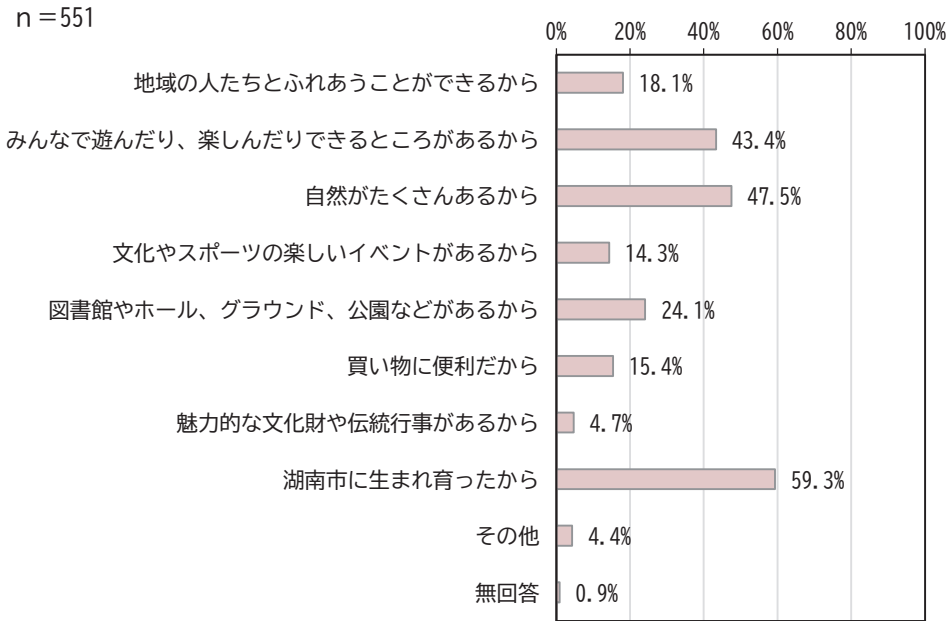
5年後の幸福度



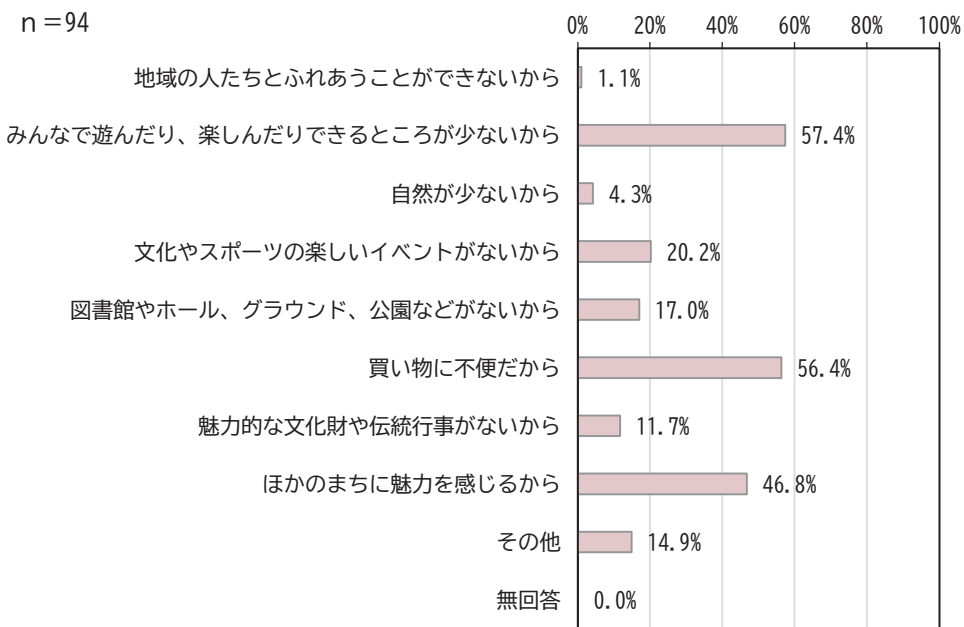
湖南省が好きか



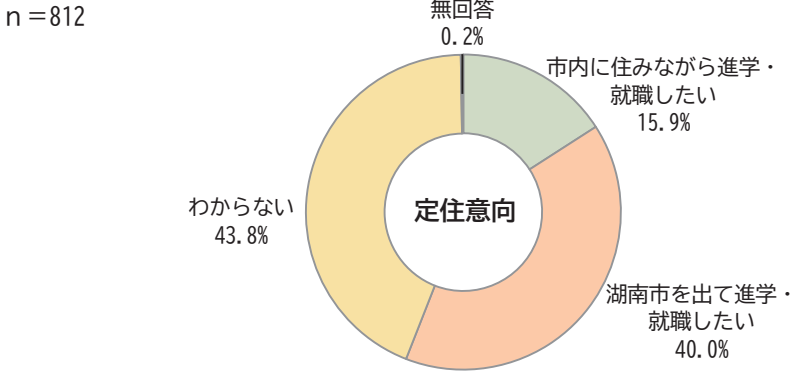
好きな理由



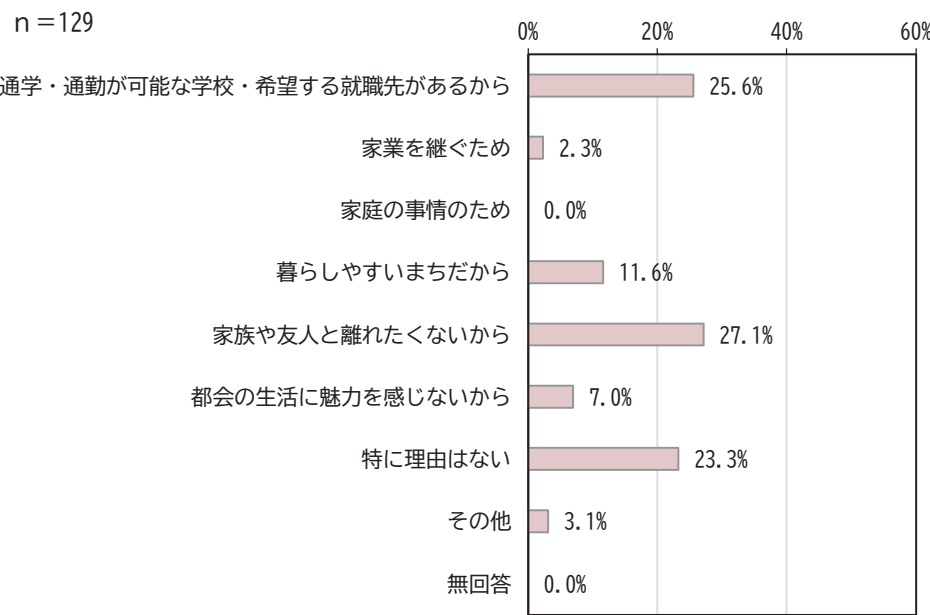
好きでない理由



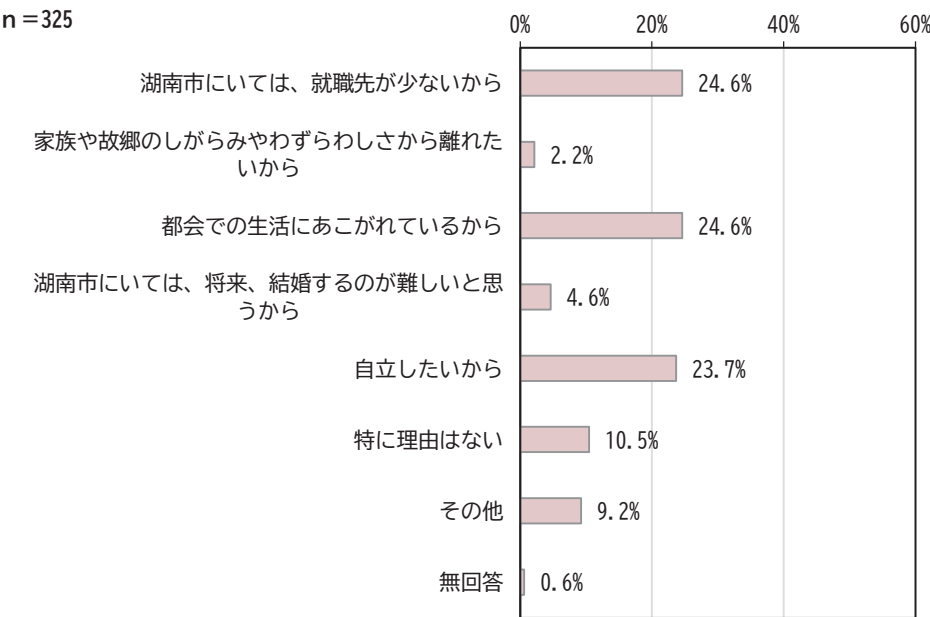
定住意向



湖南省に住みたい理由

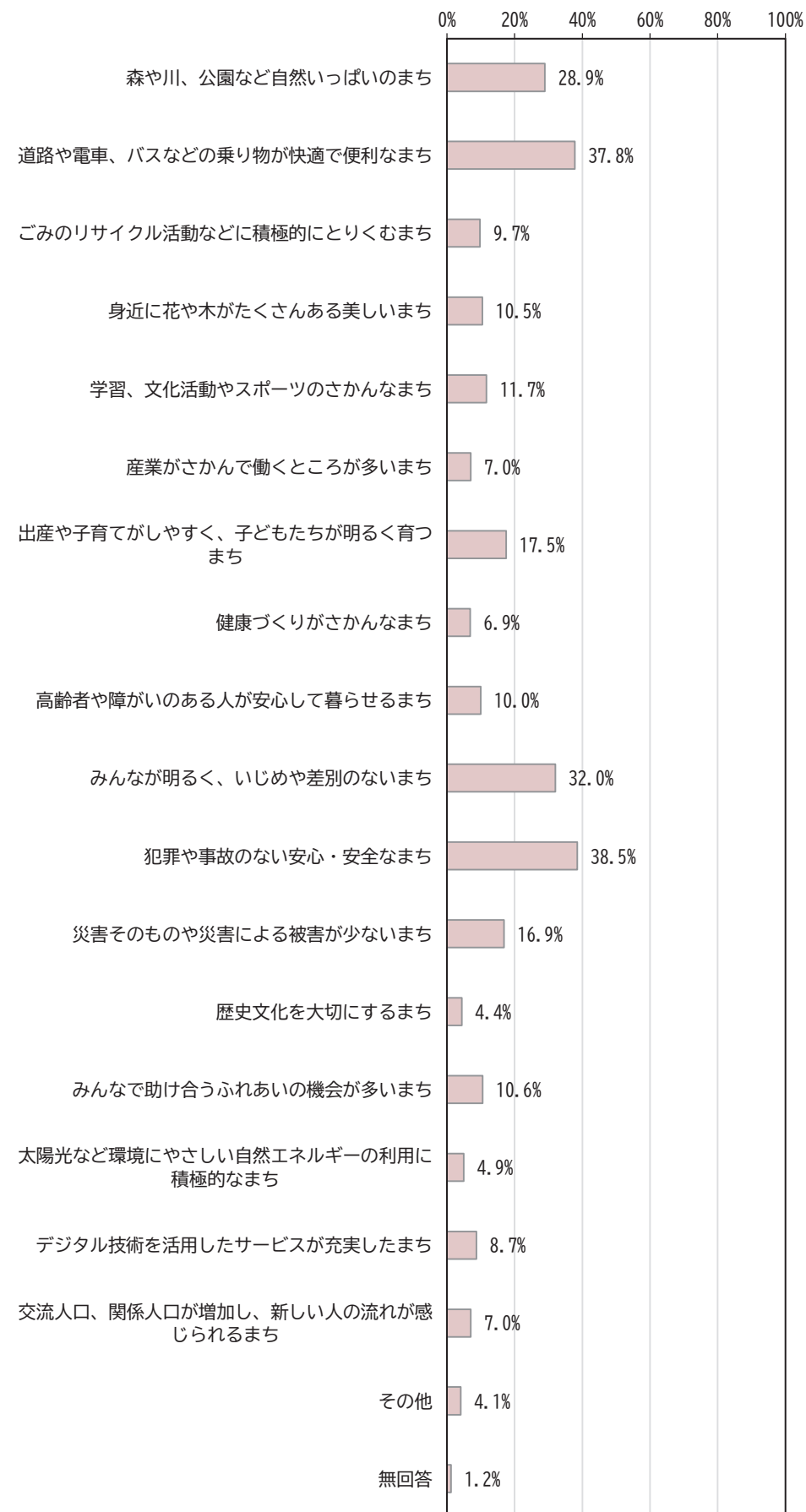


湖南省を出たい理由



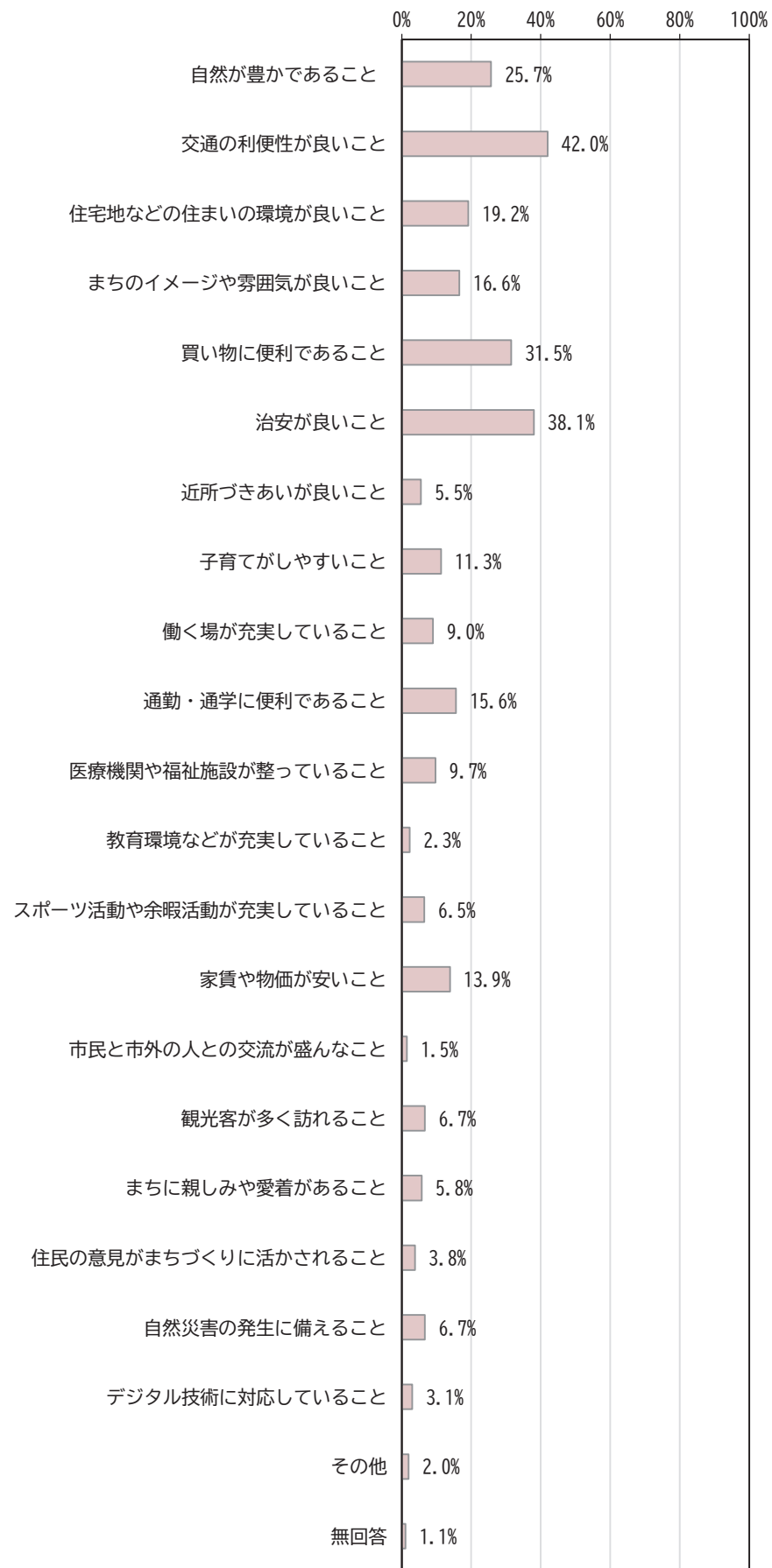
湖南省の将来イメージ

n = 812



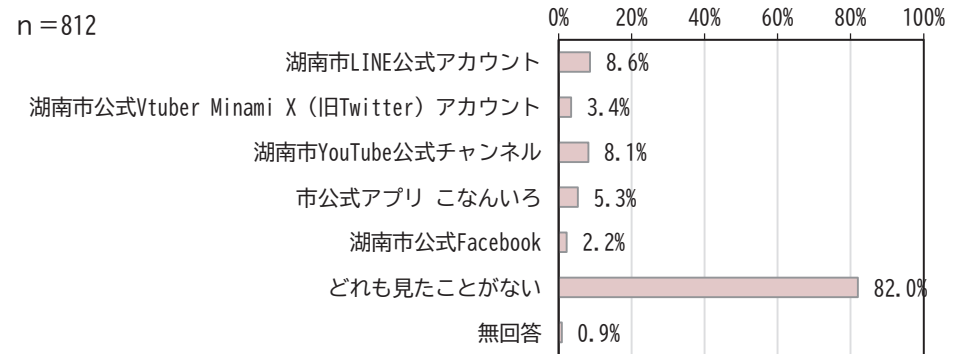
湖南省に住み続けるための重要なこと

n = 812



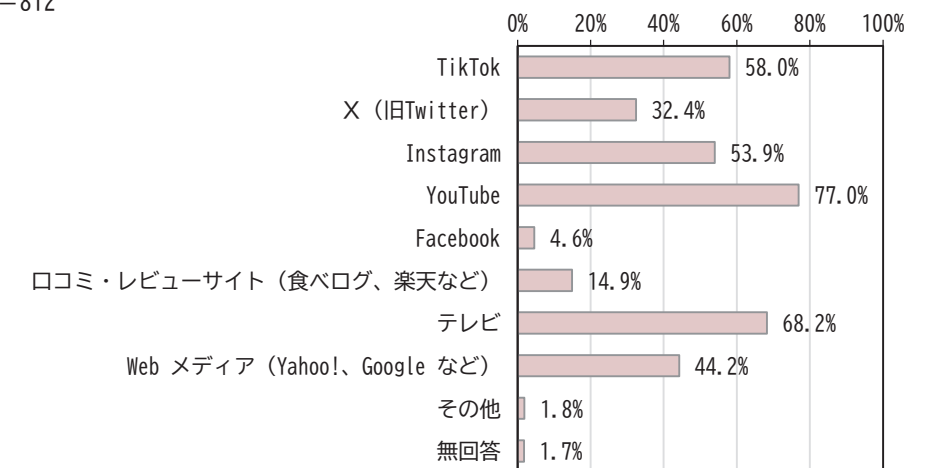
市公式 SNS を見たことがあるか

n = 812



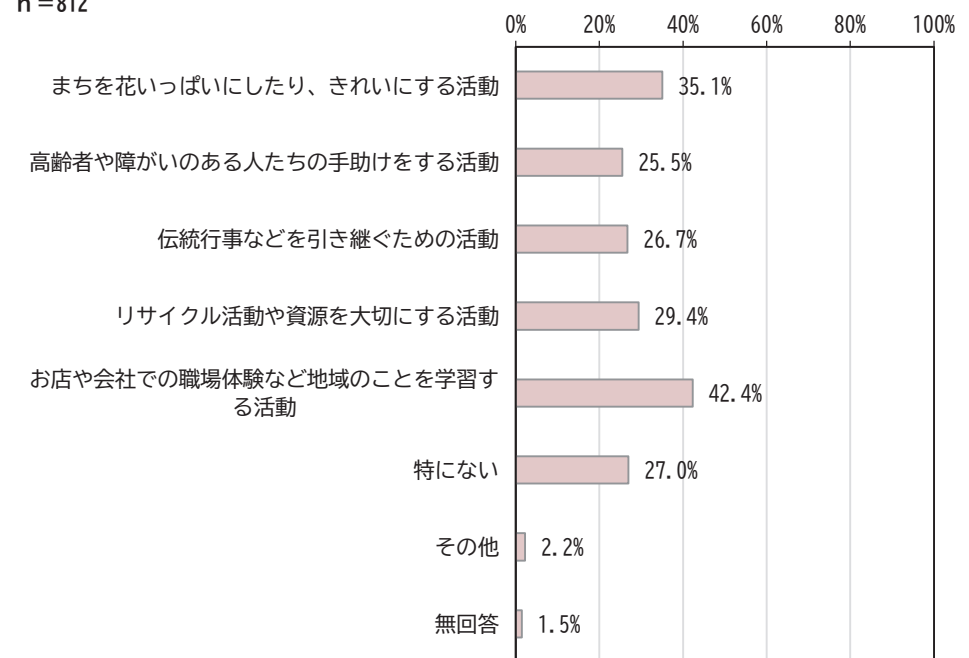
情報入手先

n = 812

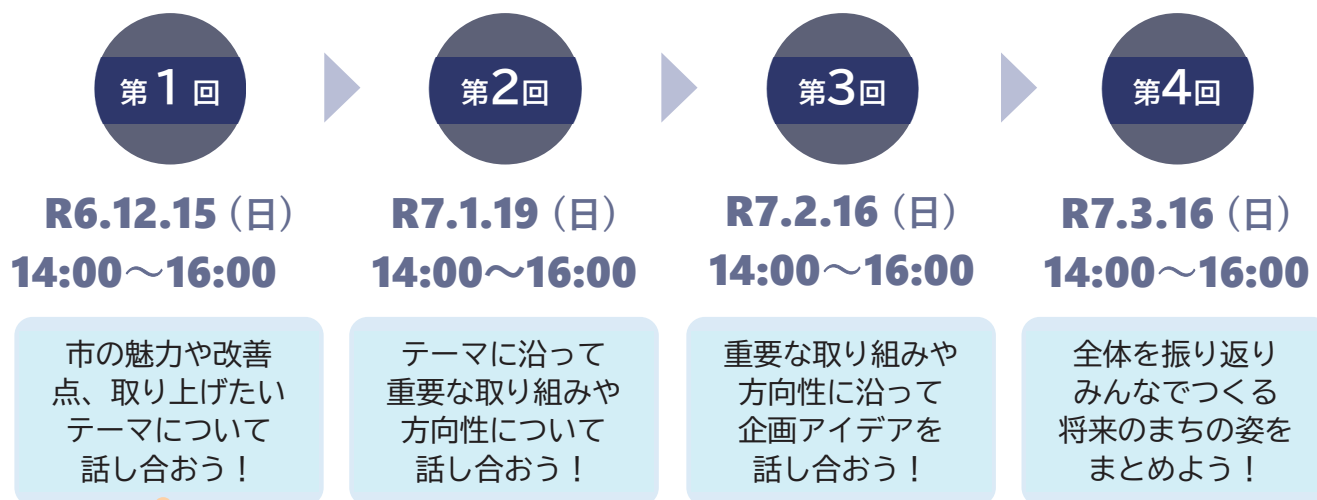


住みよいまちにするための活動

n = 812



第三次湖南省総合計画ワークショップの流れ



～本日のワークショップの流れ～

- (1) アイスブレイク
 - ▶ グループで自己紹介やゲームをしながら緊張をほぐしましょう！
- (2) グループワーク
 - ① 湖南省の良いところ、改善したいところ、まちづくりの方針として重要なこと、どのようなまちにしたいか
 - ▶ グループテーマに関連する「湖南省の良いところ、改善したいところ」について意見を出し合いましょう！
 - ▶ アンケート結果を参考にしながら「まちづくりの方針として重要なこと、どのようなまちにしたいか」について意見を出し合いましょう！
 - ② 今後のワークショップで取り上げる政策テーマの決定
 - ▶ 特にたくさん意見が出たテーマや今後深掘りしていきたいテーマなど、次回以降のワークショップで中心に取り上げる政策テーマを決定しましょう！
- (3) 成果の発表
 - ▶ グループごとに今日の成果を発表しましょう！

～ワークショップの心得～

- ★ 否定しない（違う意見も受け入れる、人の話をさえぎらない）
- ★ 人の意見に乗っかる（意見をふくらませる）
- ★ 忖度しない（遠慮しない）
- ★ 簡潔に（特定の人が長く話しすぎない）
- ★ 全員参加（必ず全員が話す）
- ★ 楽しく（とにかく笑顔で仲良く楽しむ）

湖南省の良いところ

湖南省の改善したいところ

グループのテーマ〈政策テーマ〉

テーマのキーワード

まちづくりの方針として重要なこと

どのようなまちにしたいか

第三次湖南省総合計画 第1回ワークショップ

令和6年12月15日（日）

（グループ1：人権尊重と自立・自助、共助のまちづくり）

湖南省の良いところ

- ◎いろんな人がいて差別がない
 - ・外国人が多い
 - ・差別がない
- ◎受け入れてくれる
 - ・保守的ではない
- ◎色々なまちづくり活動を実施していることを若い人にも知ってほしい
 - ・水戸まち協は高齢者の居場所づくりボランティアカフェ（週3回開催）
 - ・高齢者の支え合い活動をしている
 - ・シニアが元気！
 - ・住民で公園を綺麗にしている
 - ・近所などのコミュニケーションが良い
 - ・中学生や小学生がよく挨拶してくれる
 - ・週1回くらい勉強会
 - ・敬老会も参加、子どもと交流
 - ・下田のまち協で餅つきをしている
 - ・若い人に餅つきしてほしい
 - ・子どもが参加する活動であれば親が参加してくれる

↓ マッチングが大事 ↓

- ◎まち協への若者の参加が少ない
- ・まち協の行事に若い人の参加が少ない
- ・若い人にまちづくりを理解いただけない
- ・住民にまちづくりの取組が理解されない
- ・まちづくりに無関心な人が多い

湖南省の改善したいところ

- ◎どうやって参加したらよいかわからない
 - ・子育て世代がまちづくりの機会に関わりづらい
 - ・若者が意見を言う機会が少ない
 - ・やりたいことをどこに相談したらいいかわからない
- ◎一所懸命に周知しているが若い人に届かない
 - ・広報ベタ？
 - ・楽しいことへの参加から結果的にまちづくりへ
 - ・食べ物とのセットやネーミングのセンスで誘う
- ・まち協のイベントに遠くの区域が参加できない
- ・公共施設が少ない（グラウンドなど）
- ◎その他
 - ・交通の便が悪い
 - ・広めの公園が少ない
 - ・個人店が少ない
 - ・近くにスーパーがない

グループのテーマ〈政策テーマ〉

市民主体のまちづくり

住民が活躍・連携のあるまちづくり

テーマのキーワード

- ・新市長に期待
- ・多世代の連携
- ・子育て世代もシニア、中学生も対等に話し合える
- ・笑顔率世界一

まちづくりの方針として重要なこと

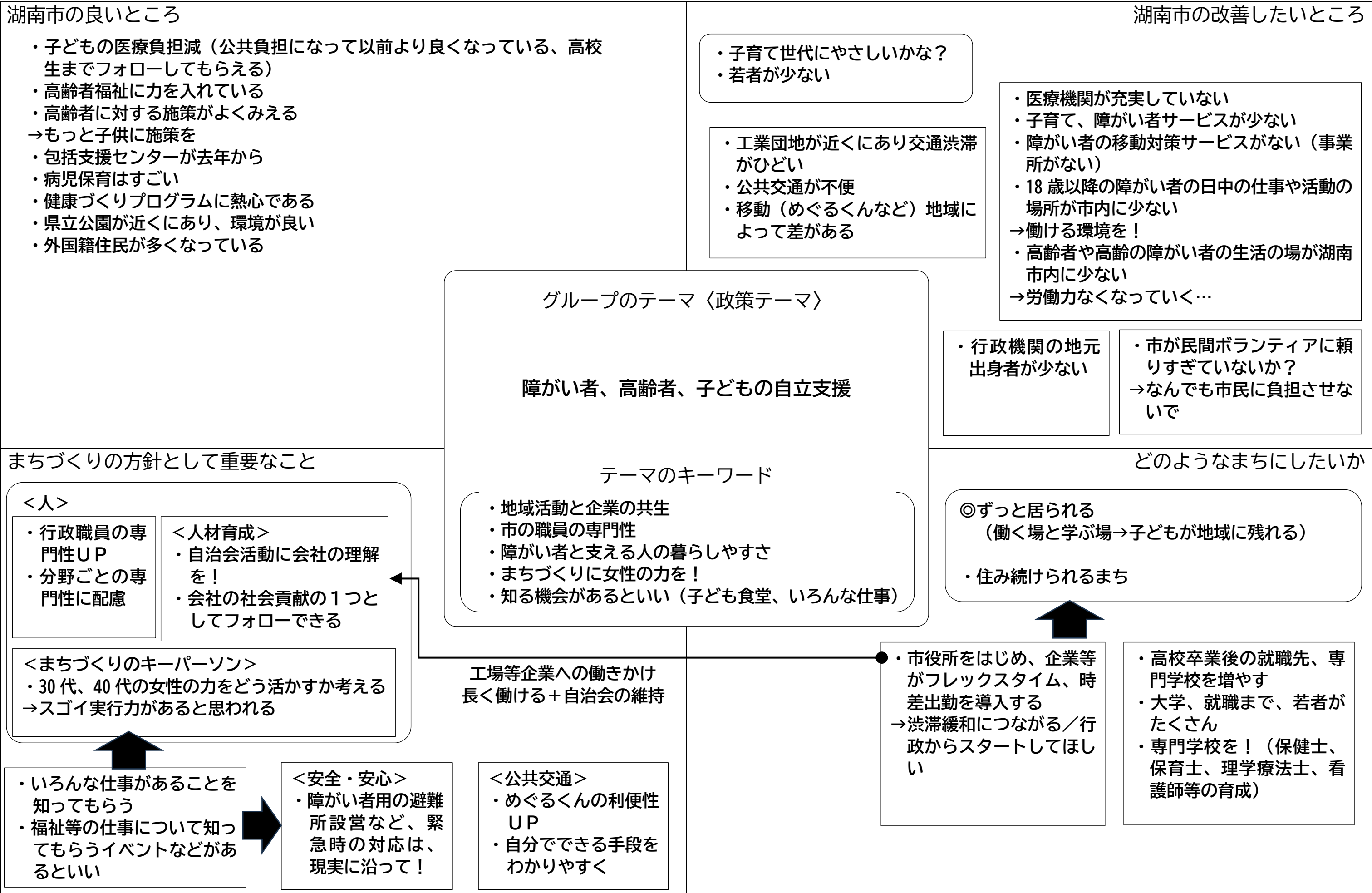
- ・みんなが参画できること
- ・世代間が断絶しない、継承していけること
- ・町内会の会計は明朗にする（理解して貰えるように）
（若い世代は役につくのがイヤ）
- ・学校で子供たちに地域のまちづくりについて伝える
- ・会議や活動は、若者が参加しやすい時間設定
（託児サービスを用意して子どもを預けられるなど）

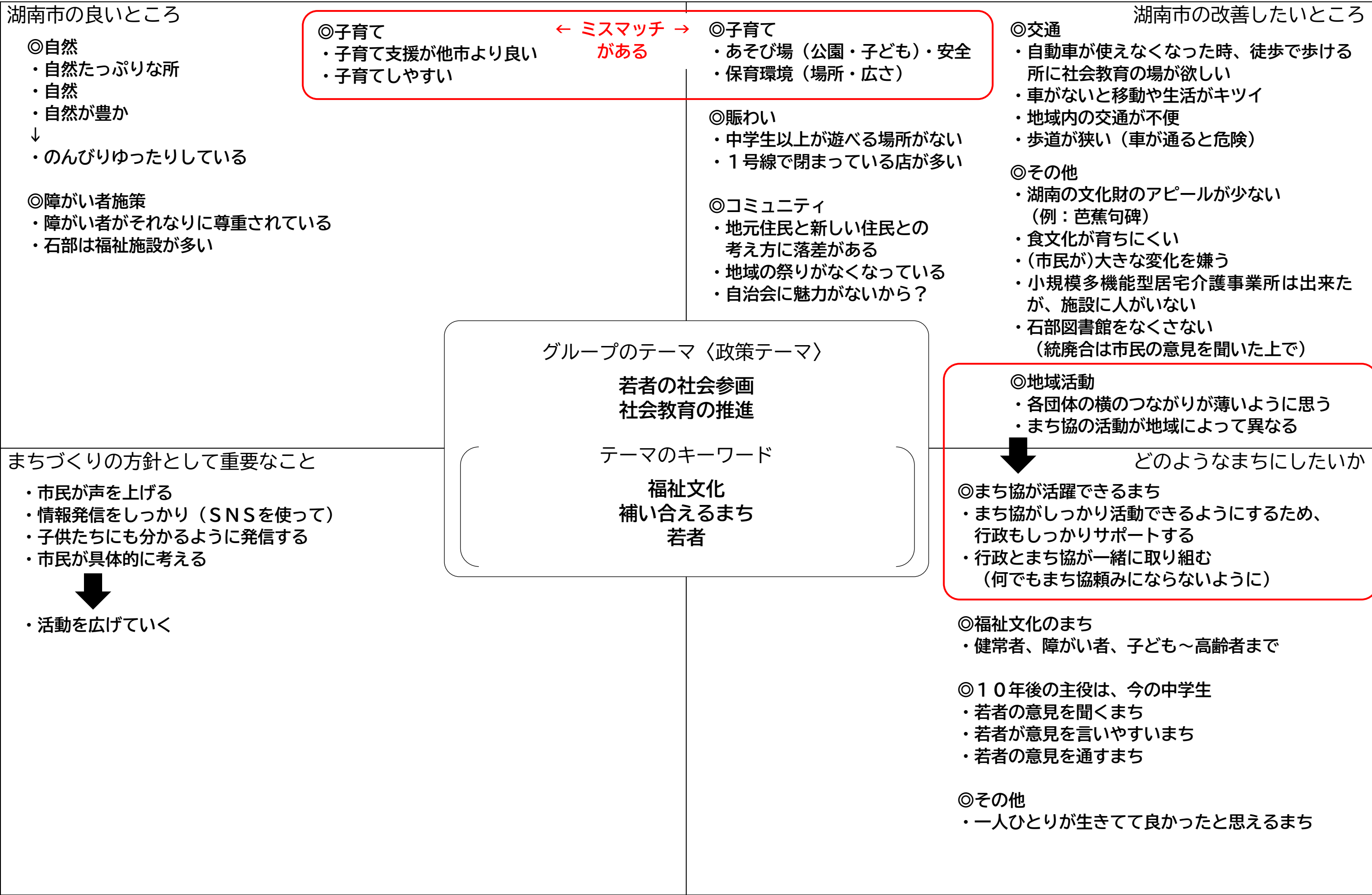
どのようなまちにしたいか

- ◎住みよいまち
- ◎いろんな世代がつながって力を合わせれば、地域はうまくいく
- ・交通の不便を行政と地域ぐるみの取組の連携でカバーする
- ・支え合い事業のなかで移動支援をやっている
- ・交通事業者と連携…費用面が課題・続かない

湖南省市の良いところ ◎公園・緑地 - 公園などの数が多い - 自然が豊か - 公園整備がなされている（水戸学区） - 歴史を感じる ◎エネルギー - 地域エネルギー&脱炭素の取り組みは進んでいる方です - コナンウルトラパワーによる太陽光エネルギー活用 - コンパクトシティで経済的 ◎その他 - 工業団地がある	湖南省市の改善したいところ ◎公園・緑地 - にぎり池公園の整備がなされていない - 公園の管理が不十分 - 草津沿線の花畑がない - 公園が有効に活用されていない ◎エネルギー - 脱炭素の取り組みは範囲を広くしてください - 蓄電池の活用が少ない ◎環境美化 - 茶釜川の美化がなされていない - 野洲川の河川環境が悪い ◎河川 - 用水路があふれ危険 - 用水の雨水排水が悪い - 河川の中に土砂が堆積して危険 ◎その他 - ゴミのポイ捨てが多い - 伝統野菜の栽培が少ない - 人と人、地域間の交流が希薄化 - 住宅地内の道が細い
まちづくりの方針として重要なこと	どのようなまちにしたいか ◎環境・緑化 - 市を流れる川沿いがきれいに整備されている - 全ての公園が緑豊かできれいに整備されている - 草津線沿線の整備-花いっぱい - ゴミのポイ捨てができないまち ◎その他 - 駅に近い住宅環境が必要 - 宿泊者が滞在する町 - 渋滞のない1号線にしてください - 電柱の無い新しい町づくり（新住宅・未来住宅） - 石部宿の資料館をJR石部駅中心地にする 3つの駅をレンタサイクリングできる町

湖南省市の良いところ ◎市内に鉄道駅が 3 つある ・市内の中央部を走る JR 草津線には、市内に 3 つの駅が設置されている ・石部・甲西・三雲に駅が設置されていることにより、市民が利用しやすい環境にある ◎車で移動がしやすい環境 ・車で移動する分には利便性の高いまちであり、高速 I C からも近く利用しやすい ・市内外を結ぶ幹線道路や住宅団地内の道路は、車が走りやすい ◎第二次産業が発展 ・市内には、工場（製造業）や物流の輸送拠点が多い ◎豊かな自然がある ・周囲が山に囲まれ、中央に野洲川が流れている ・豊かな自然環境にめぐまれている ◎歴史がある ・観光資源が豊富（温泉・湖南三山） ・国宝の寺院が複数ある（湖南三山） ・東海道の宿場町として、歴史があるまち		湖南省市の改善したいところ ◎移動がしづらい状況にある ・市内は、大都市間の通り道となっており、1 号線を中心に通過交通が多い状況 ・地域によっては交通利便性の格差がある ・車がないと移動に困る ・南部と岩根、団地と部落に分かれている ・JR 3 駅からの移動が不便 ・公共交通を利用しづらい ・野洲川によって市内が分断されており、通勤・通学時に 4 つの橋で渋滞が起きる ◎自慢 ・市外に自慢できるものが少ない（市内には弥平唐辛子などはあるが、目玉となる商品などの開発が必要） ◎観光誘客に向けたアピールが不足 ・観光客の誘致にもっと積極的になってほしい ◎市内での働き口が限られる ・第二次産業以外の働き口が少ない ◎中学校新設 ・人口が増加している地域に生徒数が偏るため、新中学校の新設が必要	
まちづくりの方針として重要なこと ◎住んでいるまちの環境を良くしたい！ ・老人共住のマンション、食品スーパー、医院を充実・維持させ、合わせて移動しやすい交通環境づくりが必要 ・小学校近くに単身家庭の住居や市営住宅を立地させ、通いやすい環境づくりや子どものケアが必要 ・居住環境の改善とあわせて防災対策も大事 ・アプリを使って平和堂などからの配送サービスがあると良い ・大学等の専門機関と連携した環境改善が必要 ◎交通の充実 ・平和堂などでレンタカーの貸出サービスがあると良い ・通勤・通学、日常的な買い物などのために 4 つの学区をつなぐバスルートをつくる（下田⇄石部など） ・幹線道路と市内道路分けて交通環境を整備 ◎自然の活用 ・魚の養殖（ふぐ、すっぽん、キャビア）		グループのテーマ〈政策テーマ〉 公共交通の充実 テーマのキーワード 交通ネットワークの形成（鉄道、バス、車を連携） 居住環境の充実、観光、歴史、自然、産業 ◎交通＋観光 ・観光のモデルコースを、J R 3 駅を中心に設定する ◎観光の PR や充実 ・石部地区を観光に特化させる ・寺と食事などの旅行パッケージやキャンプ地（アウトドア）などを売り出す ・三雲城址のアピールと活用 ・土産物、物産品の開発が必要 ◎短期的な目線ではなく、30 年後、50 年後を見据えた施策を推進する必要がある	
		どのようなまちにしたいか ◎住民が誇りを感じられるまち ➡ 移動しやすいまち ➡ 観光で栄ennaまちにしたい ➡ 市外から人が集うまち	





湖南省の良いところ	湖南省の改善したいところ
◎自然 ・自然豊か ◎地域コミュニティ ・地域の事業を地域の人達が協力して行っている ・イベントなどがある （人権まつり、ウツクシマツフェスタ） ・近所の人たちで公園の草ひき ・伝統を大切にしている （和菓子、漬物、下田焼き） ・地域の人が温かい ・人権についてみんなが考える ◎安全・安心 ・110 番の家がある ・危険な所が少ない ・治安がいい	◎環境配慮 ・太陽光パネルがある ◎お買い物・遊び場 ・ショッピングモールなどが少ない ・遊べる所が少ない ・遊ぶ場所が少ない ◎道路 ・道路が狭い（東海道） ・ガタガタな道路が多い ・甲西中の前の信号がない ◎祭り・イベント ・祭りやイベントの規模が小さく、参加者が少ない ・地域の祭りがなくなった（餅つきとか） ◎市の特徴 ・湖南といえばコレみたいなものが、あまりない ・あまり新しい物や事がない ・名物みたいなものがない ⇒例えば…建物・食べ物・観光地が少ない ◎その他 ・病院がいつも混んでいる ・地域の人と関りが少ない （きっかけがない） ・動物が多い ・見た目（景観）があまり良くない ・田んぼや畑の近くに新築の家などがあり、バランスが悪い
まちづくりの方針として重要なこと	どのようなまちにしたいか
◎宣伝 ・イベントの宣伝をたくさん！ ・市内だけでなく、市外にも宣伝し、湖南省を知ってもらおう ⇒例えば…伝統系ならポスター ◎交流・イベント ・いろんな年代の人達が交流できる機会をつくる ・誰でも参加しやすいイベントをする ⇒例えば…かわいいものを売るイベント （中学生女子向け） ◎象徴 ・湖南省を象徴する建物などをつくる ・象徴にしたいもの （お土産向き・キャラクター・織田信長）	◎活発なまち ◎交流 ・交流がたくさんできるまち ・地域の人たちが、たくさんかかわりを持ち、協力し合えるまち ◎チャレンジ ・たくさんすることにチャレンジする！ ・伝統を守りつつ、新しいことを取り入れる ◎誰にとっても便利なまち ・色々な人たち（老人・幼子・外国人等）が不便なく暮らせる

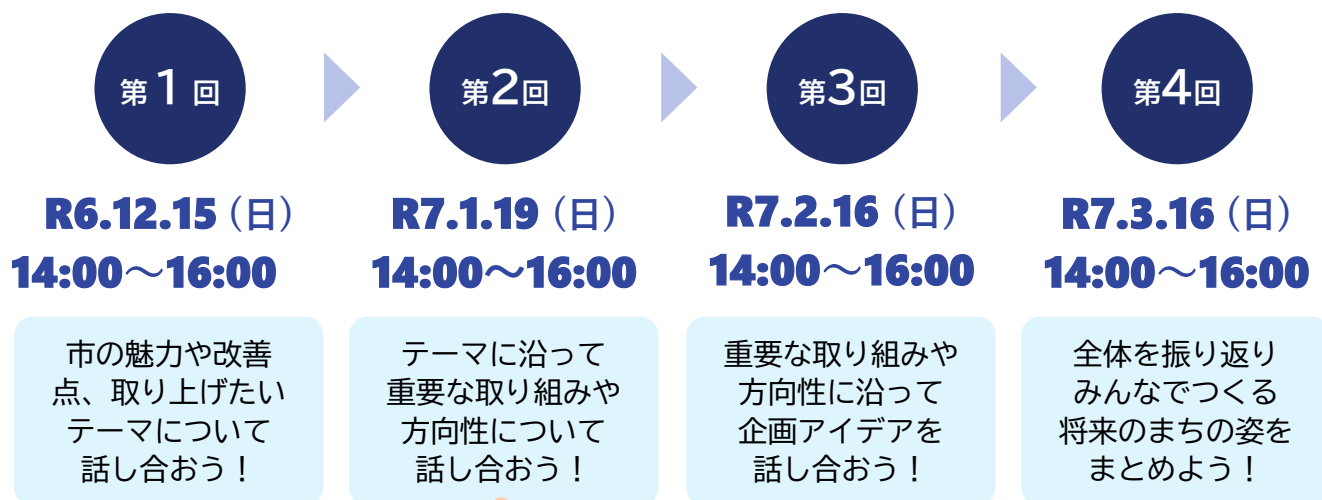
第三次湖南省総合計画 第2回ワークショップ 次第

日時：令和7年1月19日（日） 14：00～16：00

場所：湖南省共同福祉施設（サンライフ甲西）2階大ホール

1. 開会
2. 第三次湖南省総合計画審議会会長挨拶
3. 事務局説明
 - （1）ワークショップの流れについて （資料1）
4. ワークショップ
 - （1）アイスブレイク
 - （2）前回の振り返り
 - （3）グループワーク
 - ①重要な施策「重要な取組の設定」
 - ②現状の課題と解決までのストーリー
 - （4）グループ発表
 - （5）講評
5. 閉会

第三次湖南省総合計画ワークショップの流れ



～今回のワークショップの流れ～

- (1) アイスブレイク
▶ ゲームをしながら緊張をほぐしましょう！
- (2) 前回の振り返り
▶ 前回のグループワークの内容を振り返りましょう！
- (3) グループワーク
①重要な施策「重要な取組の設定」
▶ 前回設定した政策テーマやキーワードに沿って、重要と考える施策などを考えましょう！
②現状の課題と解決までのストーリー
▶ ①をさらに掘り下げ、施策のターゲット（こんな人が）、現状の問題・課題（こんなことに困っている、悩んでいる）、解決策・方向性（こんなことをしたら）、結果・効果（こうなった）について考え、現状の課題と解決までのストーリーを組み立ててみましょう！
- (4) 成果の発表
▶ グループごとに今日の成果を発表しましょう！

～ワークショップの心得～

- ★ 否定しない（違う意見も受け入れる、人の話をさえぎらない）
- ★ 人の意見に乗っかる（意見をふくらませる）
- ★ 忖度しない（遠慮しない）
- ★ 簡潔に（特定の人が長く話しすぎない）
- ★ 全員参加（必ず全員が話す）
- ★ 楽しく（とにかく笑顔で仲良く楽しむ）

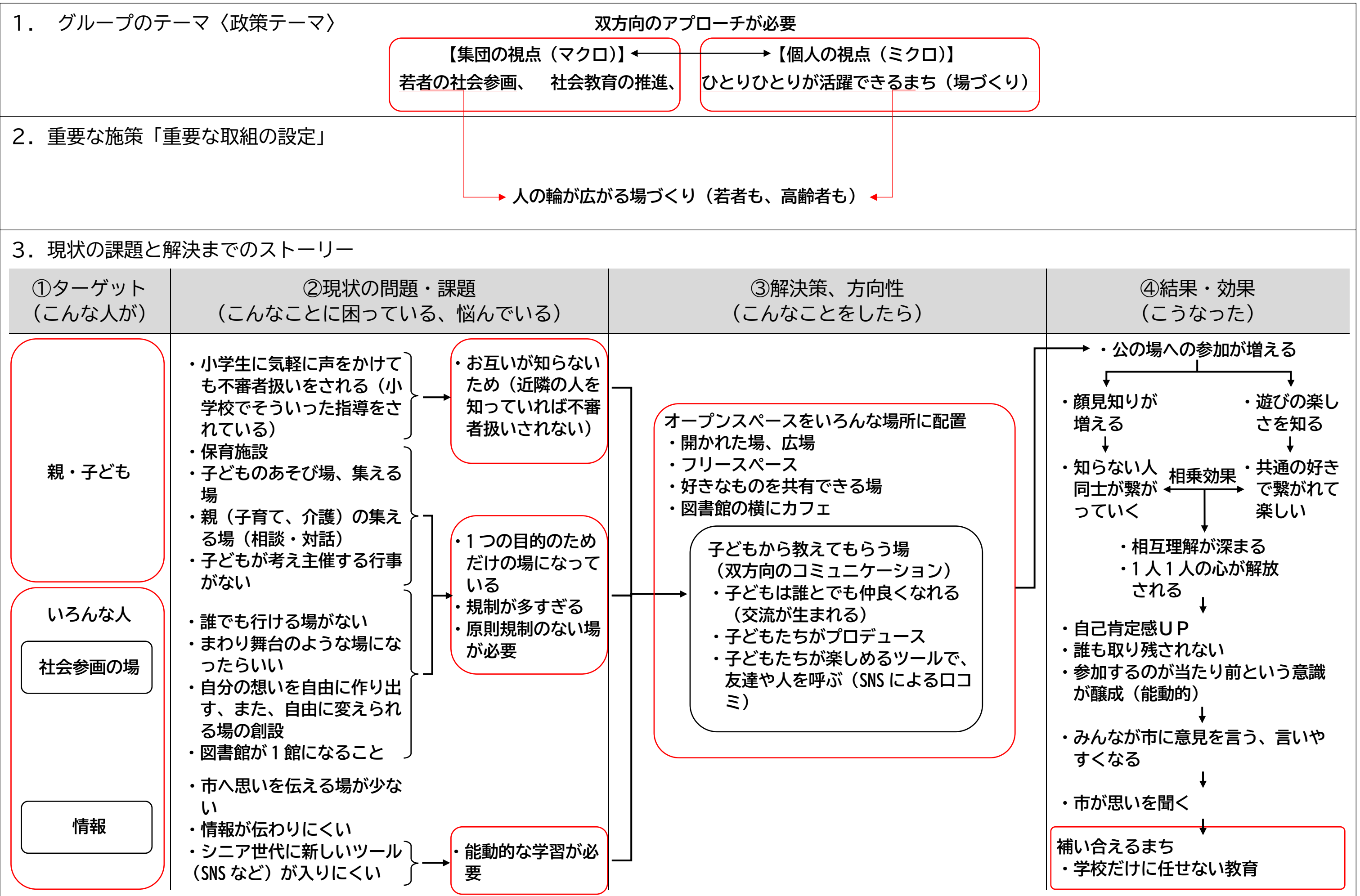
1. グループのテーマ〈政策テーマ〉			
2. 重要な施策「重要な取組の設定」			
3. 現状の課題と解決までのストーリー			
①ターゲット （こんな人が）	②現状の問題・課題 （こんなことに困っている、悩んでいる）	③解決策、方向性 （こんなことをしたら）	④結果・効果 （こうなった）

1. グループのテーマ〈政策テーマ〉 市民主体のまちづくり 地域住民の助け合い・多世代の連携で			
2. 重要な施策「重要な取組の設定」 自分たちで自分が暮らす地域を暮らしやすく			
3. 現状の課題と解決までのストーリー			
①ターゲット (こんな人が)	②現状の問題・課題 (こんなことに困っている、悩んでいる)	③解決策、方向性 (こんなことをしたら)	④結果・効果 (こうなった)
若い人たち	世代間で考え方が違う (自治会への加入に対する考え方など)	●自治会の重要性を説明し、分かってもらう ⇒自治会は保険みたいなもの（災害など何かあった時の備え・セーフティネット） ●ある程度顔が見える規模で話し合うと若い人の意見も聞ける（組が大きすぎると若い人の意見を聞く機会がない）	住民の交流が 活発なまちになる
新しい団地の 住民	地域コミュニティや自治会の大事さを 分かってもらえていない		
	自治会などの役員の担い手がない	●高齢者ばかりの組と若い人がいる組の合併で若い人を確保する	安心して暮らせるまち になる
シニアだけ の世帯	何かあった時にどのように対応するか	●地域外に住む息子さん、娘さんと事前に連絡先や対応方法について確認しておく	
	町内の住民同士の情報の共有が難しい (地域のどこに、どんな人が困っているか)	●隣近所・向こう三軒両隣くらいは、普段からしっかり話し合って分かりあうことが大事	
男 性 (特にシニア)	“きっかけ” がないと交流が自然に生まれない	●交流の機会を設ける（趣味の集まり） ⇒男性のためには、交流が生まれるようなきっかけづくりを企画する必要がある	

1. グループのテーマ〈政策テーマ〉 【2つのテーマ】 ・環境の保全 ・身近な公園の整備 →（地域の活力向上）			
2. 重要な施策「重要な取組の設定」 【3つの取組】 ・憩いの場づくり（河川空間や大きな公園など、地域の自然を活用した憩いの場） ・魅力づくり（子育て世帯を呼び込める魅力づくり） ・子育て環境の充実（子育てしやすい公園の整備）			
3. 現状の課題と解決までのストーリー			
①ターゲット （こんな人が）	②現状の問題・課題 （こんなことに困っている、悩んでいる）	③解決策、方向性 （こんなことをしたら）	④結果・効果 （こうなった）
【4つのターゲット】 ・野洲川 ・大きな公園 ・公園管理 ・歴史資源	 ・野洲川沿いに人が集まる要素がない ・河川が鬱蒼としている ・湖南省の「顔」になる場所なのにもったいない ・公園の魅力がない ・にぎり池の環境を活かしきれていない ・菩提寺公園の環境を活かしきれていない ・小さい公園の管理 ・地域住民（まち協）による管理 ・トイレがない ・歴史資源が活用しきれていない（石部宿など）	 ・河川空間の活用 ・人が集まる空間に ・憩いの場の創出（周辺都市を参考に） ・自然が多い公園整備 ・ウォーキングルートの整備 ・利用するのにお金がかからない公園（じゅらくの里のように） ・シルバー人材を活用した管理 ・広場化 ・駐車場化 ・歴史を取り入れたツーリズム ・自然や日本酒とのコラボ ・自然・歴史を活かしたPR	 【子育て】 ・ランニングや子育て世帯の遊ぶ場の創出 ・市民が気軽に利用できる ・地域の文壇の緩和 【活性化】 ・地域の魅力向上 ・地域住民の増加 ・地域の活性化 【管理】 ・管理負担の軽減 【魅力のPR】 ・湖南省の魅力を対外的にPR ・湖南省に来る人の増加

1. グループのテーマ〈政策テーマ〉 公共交通の充実			
2. 重要な施策「重要な取組の設定」 鉄道：鉄道利用者（市内⇄市外）の増加につながる施策 ○草津線の複線化を推進 ○駅駐車場の収容台数をもっと増やす ○駅周辺のにぎわいを創出する（商業施設や商店街、住宅団地の開発、低未利用地の活用） バス：市内各地にアクセスできるようにバスの利便性を高める施策 ○鉄道とバスのダイヤを連携させる ○日常的な買い物や通院など、利用者の目線に合わせたバスルートやダイヤの設定 ○観光名所へつなぐバスルートの設定			
3. 現状の課題と解決までのストーリー			
①ターゲット （こんな人が）	②現状の問題・課題 （こんなことに困っている、悩んでいる）	③解決策、方向性 （こんなことをしたら）	④結果・効果 （こうなった）
◎公共交通（主にバス）の利用が必要な人 ・観光客（車以外の利用） ・病院への通院が必要な患者さん ・買い物弱者 ・高齢者 ➡利用ニーズに応える	◎バスの運営状況が厳しい ・運転手が不足している ・利用者のニーズや実態に即したバスルートやダイヤになっていないため、利用者が少ない ➡利用者の減少につながる悪循環に陥っている ◎観光×交通の組み合わせが乏しい ・公共交通を使って満足に観光することができない ・観光名所に行こうと思っても、車で行くことが前提となってしまう場所がある（特に三雲城址） ➡公共交通を使って観光地にアクセスできる手段がない ◎買い物弱者への配慮が必要 ・自分でお店に行くことが難しい ・交通利便性が低く、配送サービスの利用が必要 ➡市内を移動する際には、自家用車が必要であり、買い物難民が発生する状況 ◎独り暮らしの高齢者が増えている ・地域コミュニティと疎遠になりがちなところがあり、普段の様子が分かりづらい ・孤独死が増えてしまうことを懸念している ➡交通の分野からも対策が必要	◎バスだけに頼らない、新しい交通手段を導入する ・「ライドシェア」を導入することにより、バスだけに頼らない移動手段を整備する ➡民間活力を有効活用する（市が主体となって、公共的な施策として推進することで、民間の負担を軽減・サポートし、取り組みやすい体制をつくる） ➡新たな雇用の創出にもつながる ◎利用実態に応じたバスルートの設定、運用しやすい車両を導入する ・市内各施設を利用する人たちの移動実態を把握し、適切なバスルートを設定する ・中型のバスだけではなく、少人数で利用できるマイクロバス、ミニバスなどの小型車両を導入する ◎買い物弱者、独り暮らし高齢者に配慮した生活サービスを行う ・店員さん自らが配達できるようにして欲しい ・特に独り暮らしされている高齢者に対して、見守りサービスを行う ・お互いに顔を合わせるような形でサービスを連携させ、孤立化を防ぐ	◎鉄道・バス・車が連携した交通ネットワークが実現する ➡公共交通を使った観光が可能になる ➡通院や買い物がしやすい移動環境が形成される ➡高齢者にやさしいまちになる

1. グループのテーマ〈政策テーマ〉 障がい者、高齢者、子どもの自立支援（何をするにも、湖南省は人口規模的にちょうど良い。） （女性への虐待や、高齢者の介護など、困ったことを相談できる場所があると良い。人権もそう。） （新市長になって、子どもに対して何ができるかということ、民生として期待している。）															
2. 重要な施策「重要な取組の設定」 ■相談窓口（○各中学校区にある包括支援センターを活用する。 ○小中高校の相談に対応してくれる場(少年センターはある。) ○子育て世帯の困りごとを受ける組織づくり ○地域によって差がある悩みを一般化できる仕組み） ■みんな （○子どもの自立は誰がサポートするか。 ○素人によるサポートか、専門性か。） ■その他 （○学校教員の負担軽減、○自宅介護からの解放施策）															
3. 現状の課題と解決までのストーリー <table><tr><th>①ターゲット （こんな人が）</th><th>②現状の問題・課題 （こんなことに困っている、悩んでいる）</th><th>③解決策、方向性 （こんなことをしたら）</th><th>④結果・効果 （こうなった）</th></tr><tr><td>■相談窓口 ○子どもが独立した元気な60～70歳代 ○悩みを抱えている人みんな</td><td>○実体験が少ないから、困りごとが分からない。共有できない。 ○どこに相談していいかわからない。 ○恥ずかしい、世間体を気にする。 ○何でも行政に相談していいか悩む。 ○こんなことを相談していいか悩む。 ○いろんな立場の人がいる。 ○相談ごとの責任をとれない。 ○まち協に支え合い支援員がいるが、知らない人が多い。 ○オープンではない。 ○相談ごとが多くても困る。対応できない。</td><td>○相談できる窓口の一本化（気軽に相談できる、相談内容を分けしすぎない） ○もっと多くの相談窓口をつくる。 ○恥ずかしさを乗り越えさせるには・・・ （プライバシーに配慮が必要。） ○地域の中で悩みを受け止め、行政と連携した対応をコーディネートする人が必要。（行政にもバランス感のある人が必要） ○110番や119番のような国の取り組み</td><td>★誰もが、どんな悩みも気軽に相談できて、悩みを抱えている人が少なくなる。</td></tr><tr><td>■新たな仕組みづくり ○悩みを抱えている人（悩みを抱える子どもの親など）への寄り添い</td><td>○いろんなことが複雑化・多様化している。（老々介護、介護難民、ヤングケアラーなど）</td><td>○今の民生委員での対応は難しい。（仕事としての民生が必要。） ○新しく、『プロの職業民生員』のような役割・仕組みをつくる。 ○あたたかい市民性がある。 ○いろんな人が繋がっている。</td><td>★子どもから高齢者になって亡くなるまで、ずっと湖南省にいていいよと発信できる ★困っている人を支える人がいて、事業所もたくさん湖南省で活動してくれるような湖南省モデルをつくる</td></tr></table>				①ターゲット （こんな人が）	②現状の問題・課題 （こんなことに困っている、悩んでいる）	③解決策、方向性 （こんなことをしたら）	④結果・効果 （こうなった）	■相談窓口 ○子どもが独立した元気な60～70歳代 ○悩みを抱えている人みんな	○実体験が少ないから、困りごとが分からない。共有できない。 ○どこに相談していいかわからない。 ○恥ずかしい、世間体を気にする。 ○何でも行政に相談していいか悩む。 ○こんなことを相談していいか悩む。 ○いろんな立場の人がいる。 ○相談ごとの責任をとれない。 ○まち協に支え合い支援員がいるが、知らない人が多い。 ○オープンではない。 ○相談ごとが多くても困る。対応できない。	○相談できる窓口の一本化（気軽に相談できる、相談内容を分けしすぎない） ○もっと多くの相談窓口をつくる。 ○恥ずかしさを乗り越えさせるには・・・ （プライバシーに配慮が必要。） ○地域の中で悩みを受け止め、行政と連携した対応をコーディネートする人が必要。（行政にもバランス感のある人が必要） ○110番や119番のような国の取り組み	★誰もが、どんな悩みも気軽に相談できて、悩みを抱えている人が少なくなる。	■新たな仕組みづくり ○悩みを抱えている人（悩みを抱える子どもの親など）への寄り添い	○いろんなことが複雑化・多様化している。（老々介護、介護難民、ヤングケアラーなど）	○今の民生委員での対応は難しい。（仕事としての民生が必要。） ○新しく、『プロの職業民生員』のような役割・仕組みをつくる。 ○あたたかい市民性がある。 ○いろんな人が繋がっている。	★子どもから高齢者になって亡くなるまで、ずっと湖南省にいていいよと発信できる ★困っている人を支える人がいて、事業所もたくさん湖南省で活動してくれるような湖南省モデルをつくる
①ターゲット （こんな人が）	②現状の問題・課題 （こんなことに困っている、悩んでいる）	③解決策、方向性 （こんなことをしたら）	④結果・効果 （こうなった）												
■相談窓口 ○子どもが独立した元気な60～70歳代 ○悩みを抱えている人みんな	○実体験が少ないから、困りごとが分からない。共有できない。 ○どこに相談していいかわからない。 ○恥ずかしい、世間体を気にする。 ○何でも行政に相談していいか悩む。 ○こんなことを相談していいか悩む。 ○いろんな立場の人がいる。 ○相談ごとの責任をとれない。 ○まち協に支え合い支援員がいるが、知らない人が多い。 ○オープンではない。 ○相談ごとが多くても困る。対応できない。	○相談できる窓口の一本化（気軽に相談できる、相談内容を分けしすぎない） ○もっと多くの相談窓口をつくる。 ○恥ずかしさを乗り越えさせるには・・・ （プライバシーに配慮が必要。） ○地域の中で悩みを受け止め、行政と連携した対応をコーディネートする人が必要。（行政にもバランス感のある人が必要） ○110番や119番のような国の取り組み	★誰もが、どんな悩みも気軽に相談できて、悩みを抱えている人が少なくなる。												
■新たな仕組みづくり ○悩みを抱えている人（悩みを抱える子どもの親など）への寄り添い	○いろんなことが複雑化・多様化している。（老々介護、介護難民、ヤングケアラーなど）	○今の民生委員での対応は難しい。（仕事としての民生が必要。） ○新しく、『プロの職業民生員』のような役割・仕組みをつくる。 ○あたたかい市民性がある。 ○いろんな人が繋がっている。	★子どもから高齢者になって亡くなるまで、ずっと湖南省にいていいよと発信できる ★困っている人を支える人がいて、事業所もたくさん湖南省で活動してくれるような湖南省モデルをつくる												



1. グループのテーマ〈政策テーマ〉 特色のあるふるさとづくり（イベント、交流、象徴、伝統）			
2. 重要な施策「重要な取組の設定」 ●湖南省に「あこがれ」（＝メリット）を持たせる ●湖南省にしかないものをつくる ◎キャラクター ・新しいのを作るより、既にあるキャラクターを前面に押し出す ◎イベント ・イベントに行く「メリット」（行きたいと思える何か）が必要 ・「湖南省のイベント」感（湖南省じゃないとできないこと）があるといい ◎まちなみ ・伝統系のゾーン、新しいまちのゾーンをしっかり分ける ・伝統系のゾーンは京都を参考に ・観光バスツアー ・ツアーのルート沿いをきれいに整備 ◎食べ物 ・食べ物は新しい名物を作りやすい			
3. 現状の課題と解決までのストーリー			
①ターゲット （こんな人が）	②現状の問題・課題 （こんなことに困っている、悩んでいる）	③解決策、方向性 （こんなことをしたら）	④結果・効果 （こうなった）
・市外の人	・行く所がない ・通過点でしかない	・近くに都会がある（草津市、大津市）	
	・田舎でも都会でもなく中途半端	・都会にはない「ホッとするまち」で勝負	・移住者が増える ・観光業が発展する
・市内の人	・そもそも湖南省を知らない	・話題性がない	
	・お土産に困る（湖南省ではなく滋賀県のお土産を買うことが多い） ・お土産を買える店も少ない	・どの年代にも受けがいいお土産を作る ・昔からある食べ物を今風にアレンジ ・湖南省のキャラクターとコラボしたお菓子 ・いしべえの井ぶり	・市に誇りを持つようになる ・住み続ける人が増える ・お店が増える ・経済が回る
・市内の学生	・進学先が少ない（良い高校に行こうと思うと市外。大学も市内にない。） ・就職先が少ない ・市内に留まる理由がない		・学校が整備される